

#### 4 中期ビジョンⅣ-1～4 『人材育成』

魅力ある職場をつくることにより、優秀な職員の獲得及び職員資質の向上を図り、市民ニーズに的確に対応した高度で質の高い行政サービスの提供を目指します。

また、教育訓練体制の充実及び人材育成を推進し、職員の資質向上による行政サービスの向上に努めます。

##### 中期ビジョンⅣ-1 働きやすい職場環境づくりの推進

事業番号	事業名	取り組み内容	所管課
Ⅳ-1-1	ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の実現	時間外勤務を抑制するため、所属への各種働きかけを実施します。男性職員の育児への関与度合いを向上させるため、育児休業の取得を推進します。	人事課
Ⅳ-1-2	魅力ある職場づくり	魅力ある職場をつくることにより、優秀な職員の確保及び職員資質の向上を図り、市民ニーズに的確に対応した高度で質の高い行政サービスの提供を目指します。	人事課
Ⅳ-1-3	健康管理対策の推進	職員が健康で勤務できるよう産業医や保健師等と連携し、健康障害の予防、早期発見・治療を推進します。	人事課

##### 中期ビジョンⅣ-2 将来を見据えた「求められる人材」の育成

事業番号	事業名	取り組み内容	所管課
Ⅳ-2-1	人材育成体制の確立と不祥事防止対策の推進	組織目標や将来ビジョンを明確に打ち出すとともに、「求められる人材」について具体的に示すことによって、職員が目標に向かって努力できる体制を整備します。また、不祥事防止に資するべく、時代や環境に応じた効果的な能力開発研修を実施するとともに、各種体制を整備します。	人事課
Ⅳ-2-2	マネジメント能力の強化	幹部職員のマネジメント能力の強化を図り、働く人たちの強みを成果に結びつけることによって、職員のモチベーションを高めるとともに、「安全・安心のまち・千葉市」の実現に向け、より質の高い消防行政を展開します。	人事課
Ⅳ-2-3	高度で専門的な知識・技術を有する職員の人材育成	社会情勢等の変化に対応するため、専門的な知識技術を有する人材の育成を図ります。	救急課 予防課 指導課

##### 中期ビジョンⅣ-3 教育訓練体制の充実

事業番号	事業名	取り組み内容	所管課
Ⅳ-3-1	消防学校教育の充実	経験が浅い若年層職員の経験不足を補い、災害対応能力を向上させるため、教育訓練のDX化を推進し、教育訓練の効率化と教官の負担軽減を図ります。また、老朽化している施設等の改修及び資機材の更新を行います。	消防学校

■初任科(新規採用消防職員)教育訓練



■警防技術大会



## IV-1-1 ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の実現

ワークライフバランスの実現を図るため、職員の月45時間を超える時間外勤務を年間6月以下とするとともに、年間の時間外勤務の上限を360時間以下とします。

また、男性職員の育児への関与度合いの向上を図るため、育児休業の取得の取得を推進します。

### 短期目標（3か年）【令和5～7年度】

- 職員の月45時間を超える時間外勤務  
年間6月以下 100%
- 育児休業取得者／対象者 100%以上



### 到達目標（10年後）【令和14年度】

- ワークライフバランスの実現により、職員が能力を十分に発揮する

### 実施スケジュール【令和5～14年度】

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)
計画事業				関係制度の整備・マネジメント層への働きかけ・施策の見直し						

### 成果指標

■ 年間の時間外勤務 360時間以下

	現状値 (2022年度)	中間目標値 (2025年度)	中間目標値 (2028年度)	目標値 (2032年度)
目標値		90%	95%	100%
実績値	—			

## IV-1-2 魅力ある職場づくり

組織（職場）は、働く一人ひとりの人間にとって、生計の糧を得る手段であると同時に、社会的な地位や、コミュニティとの絆を手にし、自己実現を図る手段となっています。組織を支えるものは人であり、働く人たちが生き生きと働ける職場環境を整備することが組織の成果に結びつきます。

このことから、職員が能力を発揮しやすく、風通しの良い、魅力ある職場をつくりあげることにより、優秀な職員の確保及び職員資質の向上を図り、市民ニーズに的確に対応した高度で質の高い行政サービスの提供を目指します。

特に、女性職員が働きやすいと感じる職場づくりを意識し、女性をはじめ、すべての職員が生き生きと活躍できる職場環境及び組織風土づくりを進めていきます。

### 短期目標（3か年）【令和5～7年度】

- ・ 職場環境の向上に係る施策の検討
- ・ 職場環境向上計画の策定
- ・ 各種施策の実施

### 到達目標（10年後）【令和14年度】

- ・ 魅力ある職場環境が整備され、働く職員の勤務意欲の向上が図られる

■職場環境（防火衣収納庫）



### 実施スケジュール【令和5～14年度】

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)
計画事業				関係制度の整備・マネジメント層への働きかけ・施策の見直しと実行						

### 成果指標

#### ■職場環境アンケートにおける職員の満足度

	現状値 (2022年度)	中間目標値 (2025年度)	中間目標値 (2028年度)	目標値 (2032年度)
目標値	-	向上	向上	向上
実績値	-			

### IV-1-3 健康管理対策の推進

令和4年4月1日現在、過去の健康診断の結果から、精密検査や治療が必要な職員が毎年180人程度発生しています。職員が健康で勤務できるよう産業医や保健師等と連携し、健康障害の予防、早期発見・治療を推進します。

#### 短期目標（3か年）【令和5～7年度】

- ・保健指導対象者に対する保健師による保健指導を100%実施する。
- ・年度内に定期健康診断結果を受けた二次検診受検率を100%にする。

#### 到達目標（10年後）【令和14年度】

- ・職員の健康障害が減少され、働きやすい環境が整備される

#### 実施スケジュール【令和5～14年度】

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	
計画事業		二次検診受検者/二次検診該当者=100%						必要に応じて計画の見直し			

#### 成果指標

##### ■二次検診該当者の受検率の向上

	現状値 (2022年度)	中間目標値 (2025年度)	中間目標値 (2028年度)	目標値 (2032年度)
目標値		100%	100%	100%
実績値	95%			

## IV-2-1 人材育成体制の確立と不祥事防止対策の推進

組織目標や将来ビジョンを明確に打ち出すとともに、「求められる人材」について具体的に示すことによって、職員が目標に向かって努力できる体制を整備します。

また、不祥事防止に資するべく、時代や環境に応じた効果的な能力開発研修を実施するとともに、各種体制を整備します。

### 短期目標（3か年）【令和5～7年度】

- ・ 消防局人材育成・活用基本方針の改正
- ・ 不祥事防止に関する各種研修の実施及び所属長等の所属全職員面談による職員の服務状況把握の徹底

### 到達目標（10年後）【令和14年度】

- ・ 「求められる人材」へ向かって、全職員が努力する体制が整備される
- ・ 懲戒処分 0件（継続）

■ 警防技術大会



### 実施スケジュール【令和5～14年度】

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)
計画事業				人材育成体制の確立・研修実施・体制整備・施策の見直しと実行						

### 成果指標

#### ■ 懲戒処分件数

	現状値 (2022年度)	中間目標値 (2025年度)	中間目標値 (2028年度)	目標値 (2032年度)
目標値	-	0 (継続)	0 (継続)	0 (継続)
実績値	-			

## IV-2-2 マネジメント能力の強化

昨今の複雑で予測困難な社会環境の変化にも対応できるよう、組織を牽引する幹部職員の能力向上が求められています。

現在も補職に伴う階層別研修の実施により、幹部職員のマネジメント能力の向上を図っているところですが、若年層を含む職員の職務に対するモチベーションを高め、行政力の維持向上を図るためには、幹部職員の管理能力等の更なる向上が必要不可欠です。

そのためには、幹部職員のマネジメント能力の強化を図り、働く人たちの強みを成果に結びつけることによって、職員のモチベーションを高めるとともに、「安全・安心のまち・千葉市」の実現に向け、より質の高い消防行政を展開します。

■分列行進(消防出初式)



### 短期目標（3か年）【令和5～7年度】

- ・ 幹部職員に必要な研修内容の検討、研修の実施

### 到達目標（10年後）【令和14年度】

- ・ マネジメント能力の強化を図り、より質の高い消防行政を展開する

### 実施スケジュール【令和5～14年度】

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	
計画事業			マネジメント層への研修実施・意識改革の働きかけ・施策の見直しと実行								

### 成果指標

#### ■管理職アンケート結果（平均値）

	現状値 (2022年度)	中間目標値 (2025年度)	中間目標値 (2028年度)	目標値 (2032年度)
目標値	-	向上	向上	向上
実績値	-			

### IV-2-3 高度で専門的な知識・技術を有する職員の人材育成

社会情勢の変化に伴い、救急需要の増加や救急救命士の処置拡大など、救急業務が高度化・専門化している他、多様化する防火対象物の指導に対して高度な知識・技術を有する、予防技術資格者の養成が課題となっています。

建築確認等、消防同意の分野では、消防用設備等の設置・維持に関する性能規定化に伴い、材料・寸法などを仕様の規定しているものと異なり、客観的検証法による評価等の導入など、申請された内容を個々に審査する科学的な妥当性が求められることから、担当する職員には、高度な知識技術が必要となっています。

このことから、救急隊員に対して、専門的で高度な医療処置を行うことができる救急救命士の養成を行い、救急サービスの更なる質の向上に努めます。

また、計画的に予防技術資格者※の養成を図るとともに、火災の予防に関する高度な知識・技術を有する職員を育成し、社会情勢等の変化に対応した予防行政を展開できる人材の育成を図ります。

※予防技術資格者とは、より専門化・高度化した予防業務を的確に行うため、平成18年4月1日より運用されている資格制度。予防技術資格者になるためには、予防技術検定に合格する必要がある。

#### 短期目標（3か年）【令和5～7年度】

- ・専門的で高度な医療処置を行うことができる救急救命士の養成
- ・予防技術検定合格者の増加（目標値：合計30人）

※防火査察専門員、消防用設備等専門員、危険物専門員の合計

#### 到達目標（10年後）【令和14年度】

- ・高度な知識・技術を有する救急救命士により質の高い救急サービスが提供される
- ・社会情勢等の変化に的確に対応した予防行政を展開する職員の育成

#### 実施スケジュール【令和5～14年度】

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)
計画事業	救急救命士の 新規養成 4人/年									
	予防技術検定合格者を 毎年10人養成									

#### 成果指標

##### ■救急救命士の新規養成

	現状値 (2022年度)	中間目標値 (2025年度)	中間目標値 (2028年度)	目標値 (2032年度)
目標値		4人/年	4人/年	4人/年
実績値	4人/年			

##### ■予防技術検定の合格者（延べ人員）

	現状値 (2022年度)	中間目標値 (2025年度)	中間目標値 (2028年度)	目標値 (2032年度)
目標値		189人	213人	245人
実績値	164人			

### IV-3-1 消防学校教育の充実

職員の大量退職により新規採用職員が大幅に増加したことに伴い、消防局全体で若年層職員が大幅に増加しており、若年層職員の経験不足による災害対応能力の低下が懸念されています。

また、近年の災害は複雑多様化しており、局地的豪雨による大規模災害や首都直下地震をはじめとする大規模地震、テロ災害などのNBC 災害にも迅速かつ的確に対応していかなければなりません。

さらに、救急や予防分野においても、高度で専門的な知識を有している人材を育成していく必要があります。

このようなことから、今後、経験が浅い若年層職員の経験不足を補い、災害対応能力を向上させるため、教育訓練のDX化を推進し、VR技術を活用した効率的な災害活動訓練を行うための環境を整備するとともに、インターネット環境を整備し、タブレット端末を活用した訓練を展開することで教育訓練の効率化と教官の負担軽減を図ります。また、円滑に学校教育を推進していけるよう、老朽化している施設等の改修及び資機材の更新を行います。

■初任科(新規採用消防職員)教育訓練



#### 短期目標（3年後）【令和5～7年度】

- ・老朽化した資機材の更新

#### 到達目標（10年後）【令和14年度】

- ・インターネット環境を整備し、消防学校教育のDX化を図る。（VR技術の活用・タブレット端末の活用）。
- ・教育訓練資機材が更新される。

#### 実施スケジュール【令和5～14年度】

2023 (R6)	2024 (R7)	2025 (R8)	2026 (R9)	2027 (R10)	2028 (R11)	2029 (R12)	2030 (R13)	2031 (R14)	2032 (R15)
	教育訓練資機材の更新	訓練塔外部改修工事		VR訓練資機材の整備	教育訓練資機材の更新				
		タブレット端末 インターネット環境整備							

#### 成果指標

##### ■教育訓練のDX化、施設の改修及び資機材の更新

	現状値 (2022年度)	中間目標値 (2025年度)	中間目標値 (2028年度)	目標値 (2032年度)
目標値	—	・教育訓練資機材の更新	・教育訓練資機材の更新 ・教育訓練のDX化の推進 ・訓練塔の改修	・教育訓練資機材の更新 ・教育訓練のDX化の推進
実績値	—			